

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2016.9.8 No.246

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

## 公園保育園問題について、介護保険制度改悪の動向について、区立施設でのふれあいの家廃止問題について 杉並区議会第三回定例会で一般質問



住民は撤去工事の状況を伝えるニュースを発行し、問題を周知。



### 認可保育所の増設は 公園転用でない方法を

杉並区議会第三回定例会（通称・決算議会）が始まります。9月9日（金）から10月14日（金）の閉会日まで、約一カ月間に亘る議会です。

今議会では一般質問を予定しており、杉並区政において深刻な問題となっている公園転用による保育園整備問題（特に下井草・向井公園について）、介護保険制度改悪の影響、区立施設での「ふれあいの家」廃止問題等を取り上げます。

公園転用による保育所整備については、各地で公園撤去工事が強行され、住民や公園を利用する子どもたちから怒りと深い悲しみの声が広がっています。

この間、住民からは公園用地とは別の代替地活用の提案等が行われていますが、区は全く聞く姿勢がありません。

杉並区自治基本条例では住民自治を進めるために区民の区政への「参画と協働」を位置付けており、住民が政策の立案から決定・評価等に主体的に参加し、意思決定に関わる”としていきます。

今の区政は、自らが定めた条例を蔑ろにする極めて強権的な区政運営を行っており、転換が必要です。



桃三ふれあいの家

「ふれあいの家」の要となる  
「ふれあいの家」の要となる  
今年の7月には、区立施設を利用して運営される「ふれあいの家」（高齢者在宅サービスセンター）の事業者に対し、杉並区から賃貸契約を更新しないとの通知が行なわれました。

「ふれあいの家」は各地で住民の協働による地域福祉の拠点として、重要な役割を担っており、突然の通知に介護現場から大きな不安の声が広がりました。

その後「ふれあいの家」の存続を求める区民の声に押され、区は方針を先送りしていますが、未だに検討は進めています。

地域包括ケアシステム構築のためにも区立施設で運営される「ふれあいの家」の事業は存続させることが求められます。

9月13日（火）10時～  
ぜひ、傍聴にお越しください

私の一般質問は  
■9月13日（火）午前10時を予定しています。  
なお、党議員団4名が一般質問に立ちます。  
ぜひ、傍聴にお越しください。

上保まさたけ議員  
9月12日（月）午後3時頃

金子けんたろう議員  
9月12日（月）午後3時半頃

原田あきら議員  
9月13日（火）午前11時頃

※質問の詳細はチラシ等をご覧ください。

# 暴挙！住民合意を無視しボーリング調査を強行



区はボーリング調査を強行(右) 高円寺中  
近隣地域に張り出されている横断幕(上)



## 高さ約30メートルの高層化する校舎

8月25日、区は施設一体型小中一貫校建築のため、高円寺中のボーリング調査(地質・地盤調査)を強行しました。

高円寺地域の施設一体型小中一貫校計画は、杉四小、杉八小、高円寺中の三校を、決して広くない高円寺中の敷地に統廃合する計画です。そのため、校舎の大きさは南北に約72メートル、東西に約62メートル、そして高さは約30メートルと巨大化せざるを得ず「日が当たらなくなる」「プライバシーが侵害される」など近隣住民の暮らしや財産にも甚大な影響を与えます。

## 住民合意を無視し強行

この間、一貫校建設により、重大な影響を受ける近隣住民のみなさんが「高円寺北一丁目被害者の会」を結成し、近隣に「住民無視の巨大校舎NO」という横断幕を貼り、区の一方的な計画の押しつけに反対をする一方、代替案も提示しながら区と話し合いを進めていました。

この中で区は、住民が納得するまでは一切の工事を行わないと約束をしていました。しかし、区は8月の中旬からボーリング調査を行うことを書面で住民に一方的に通告。資材の搬入等の準備に着手しました。

これに対し、住民は「約束と違う」と抗議の声を上げ、搬入された資材を撤去することで区と合意しました。

しかし、区は、合意の翌日、突如ボーリング調査を強行しました。

今回のボーリング調査は、住民との合意を二重に踏みにじり工事を強行した暴挙であり、重大な問題です。杉並区政の暴走が深刻化しています。

## 育メン日誌

### 遊びが高度に 兄妹で仲良く

早いもので、まもなく娘は3歳になります。日に日に言葉も増え、遊びも高度化しています。今までは、兄の影響を受け、恐竜やマンモスでの遊びばかりでしたが(苦笑)、おままごとや買い物ごっこなどもするように。兄妹で遊ぶ機会も増え、親としても大助かりです。兄妹仲良く過ごしてほしいものですね。



買い物ごっこの真っ最中。売る人と買う人が交代しながら遊んでいます。結構、リアルなやり取りで驚きます。周囲の大人の様子をしっかりと観察しているようです。

## 小中一貫校計画の見直しを

この間、杉並区が進める小中一貫校計画の問題点がマスコミ等でも指摘されており、毎日新聞でも杉並区の問題を特集しています(下記)。

既に施設一体型小中一貫校としてスタートした和泉学園についても小中一貫校の検証は行なわれておらず、様々な問題が顕在化しています。

子ども達のより良い教育環境と暮らしを守るため、小中一貫校計画は見直すべきです。

小中一貫校巡り意見対立 東京・杉並で統合計画

毎日新聞 2016年9月5日 東京朝刊

毎日新聞 2016年9月5日 東京朝刊

小中一貫教育を制度化した改正学校教育法が今年4月に施行され、義務教育を一貫した教育課程(カリキュラム)で学ぶ小中一貫校は増えつつある。一方「学校の統廃合が進み、教育の質が下がる」として反対する住民もいる。東京都杉並区教委は2019年4月に高円寺に小中一貫校を開校する予定だが、現在も一部住民が反対し、義務教育を巡る意見は対立したままだ。

高円寺中学校の校庭を見つめる岩村さん。近い将来、ここに6階建ての校舎が建つ予定だ=杉並区で

毎日新聞2016年9月5日  
付け 東京朝刊「くらしナビ」  
学ぶ」にて特集